

(日外) (A)

（本報東京二十一日電）教皇ピオ十二世は去月三十日成立した新支那中央政府を承認せず依然重慶政権を支持するに決した模様である。教皇廳が此の決定をなすに致つた理由は次の如きものであると信ぜられる。

一、在支教皇廳最高使節ザニン師は尙重慶政権當局と密接な連絡をこつてゐる。

二、在支各カソリック宣教師がその報告に於いて汪精衛政権は永續しまいと見てゐる。

三、重慶政権治下に於けるよりも日本軍占領地域内に於てより多く教會財産が破壊されてゐる。

内閣情報部四・八 情報第一號

教皇廳は新政府不承認

一 同盟來電一不發表

ニューヨーク五日發同盟

ローマ教皇廳の權威ある筋より得た情報として五日ニューヨークに對したUP電の報ずる所に依れば、ローマ教皇ピオ十二世は去月三十日成立した新支那中央政府を承認せず依然重慶政権を支持するに決した模様である。教皇廳が此の決定をなすに致つた理由は次の如きものであると信ぜられる

- 一、在支教皇廳最高使節ザニン師は尙重慶政権當局と密接な連絡をこつてゐる。
- 二、在支各カソリック宣教師がその報告に於いて汪精衛政権は永續しまいと見てゐる。
- 三、重慶政権治下に於けるよりも日本軍占領地域内に於てより多く教會財産が破壊されてゐる。



内閣情報部四・八 情報第二號

◎齋藤總領事蘭印當局と交渉
同盟來電—不發表

バタヴィア五日安藤同盟特派員發

齋藤總領事は四日蘭印政府司法長官エントーフェン、又五日には經濟長官ファン・モークを
夫々訪問、目下ハーグで行はれてゐる日本と蘭印間の政治經濟關係調整に關する交渉につき
側面的交渉を開始した、尙齋藤總領事は引續き關係當局を屢訪して交渉促進をはかる筈であ
る。

（以下は非常に淡く、ほとんど不可読な文字列が並ぶ）